

## 2018年度目録委員会記録 No.1

### 第1回委員会

日時：2018年4月21日（土）14時～16時45分

場所：日本図書館協会

出席：渡邊委員長、木下、河野、田代、野美山、村上、横山

<事務局>三浦

#### [配布資料]

1. 刊行に向けてのメモ（2018.4.21）（4ページ-A4、渡邊委員長）
2. 『日本目録規則 2018年版』の適用促進に関する申合せ（案）（1ページ-A4、渡邊委員長）
3. 『日本目録規則 2018年版』の適用促進に関する協力の覚書（案）（1ページ-A4、渡邊委員長）
4. 2017年度委員会事業報告（目録委員会）[案]（1ページ-A4、渡邊委員長）
5. 付録B-1用語解説分担案（1ページ-A3、木下委員）
6. 付録B-1用語解説（14ページ-A3、木下委員）
7. 用語解説追加案（15ページ-A4、渡邊委員長）
8. 用語解説\_統合版\_「追加候補」（20180421）（1ページ-A4、渡邊委員長）
9. 2017年度第11回目録委員会記録（案）（6ページ-A3、木下委員）

#### [報告事項ほか]

1. 議事録の確認  
2017年度第11回の記録（資料9）を確認した。
2. その他報告事項
  - ・ 資料2、3に基づき、『日本目録規則 2018年版』の適用促進に関するNDLとJLAとの覚書案について、委員会として趣旨・内容を確認した。
  - ・ 資料4に基づき、2017年度委員会事業報告案を確認した。

#### [検討事項]

1. NCR2018年版本版刊行に向けての作業について  
資料1に基づき、本版（冊子体およびPDF版）に関する今後の作業内容と進め方、スケジュールについて確認した。
  - ・ 冊子体では索引が必須となる。エレメント一覧、用語解説、表の用語をベースとして作成する。表の用語は、表の番号（表#2.17.2）で指示することを検討した。
  - ・ 冊子体の目次は、PDF版の詳細目次（全条文）ではなく、コンパクトに作成する。現NCRのように冒頭に全体の目次を作成する。その他に章単位でつけるが、第2章はページ数が多いため途中に目次を入れ込むことも検討する。現NCRのように冒頭に全体の目次を作成し、章ごとの目次にページ数は付さないこととする。
  - ・ 本版へ向けての条文修正作業において、長い条文の箇条書き形式（a）、b）、c）…）の構造化は、参照の不備を引き起こす恐れがあるため、なるべく行なわないことを確認

した。

2. 付録「#B.1 用語解説」について

資料 5、6 に基づき、検討を行った。

- 資料 5 にある分担案をもとに委員で分担を行い、表の用語の作業を行うこととする。
- 各説明文章の一文目は、付録#D と同様に体言止めとする。
- 現在、付録#B.1 にある表現種別は、付録#B.1 とはせずに、付録#D にすでにあるので付録#D のままにすることを検討した。

3. 付録「#D 用語解説」追加案について

資料 7、8 に基づき、検討を行った。

- 「合奏譜」や「その他の識別要素」のように青い網掛けをしてあるものは、付録#B.1 もしくは付録#D に既にあるため追加しないこととする。
- 「脚色者」は条文（責任表示）にあるが、関連指示子として「脚本作者」があるため削除することとする。
- 「経緯度」は、「経度」「緯度」がサブエレメントであるため、参照として追加する。「赤経・赤緯」も同様に、「赤経」「赤緯」を参照として追加する。
- 「題字欄→マスト・ヘッド」は、1)の既存の定義は削除することとし、2)のみ追加することとする。
- 資料 8 にある追加候補「DOI」「ISSN レジスター」「テートベージュ」については、本文中に説明がある等の理由により追加を見送る。
- すべてのエレメントを網羅しているか、再度チェックする。

次回以降の委員会の予定

5月26日（土）

6月16日（土）

7月21日（土）

以 上